
第7回 富山駅周辺整備事業推進協議会

富山駅交通広場の計画検討について

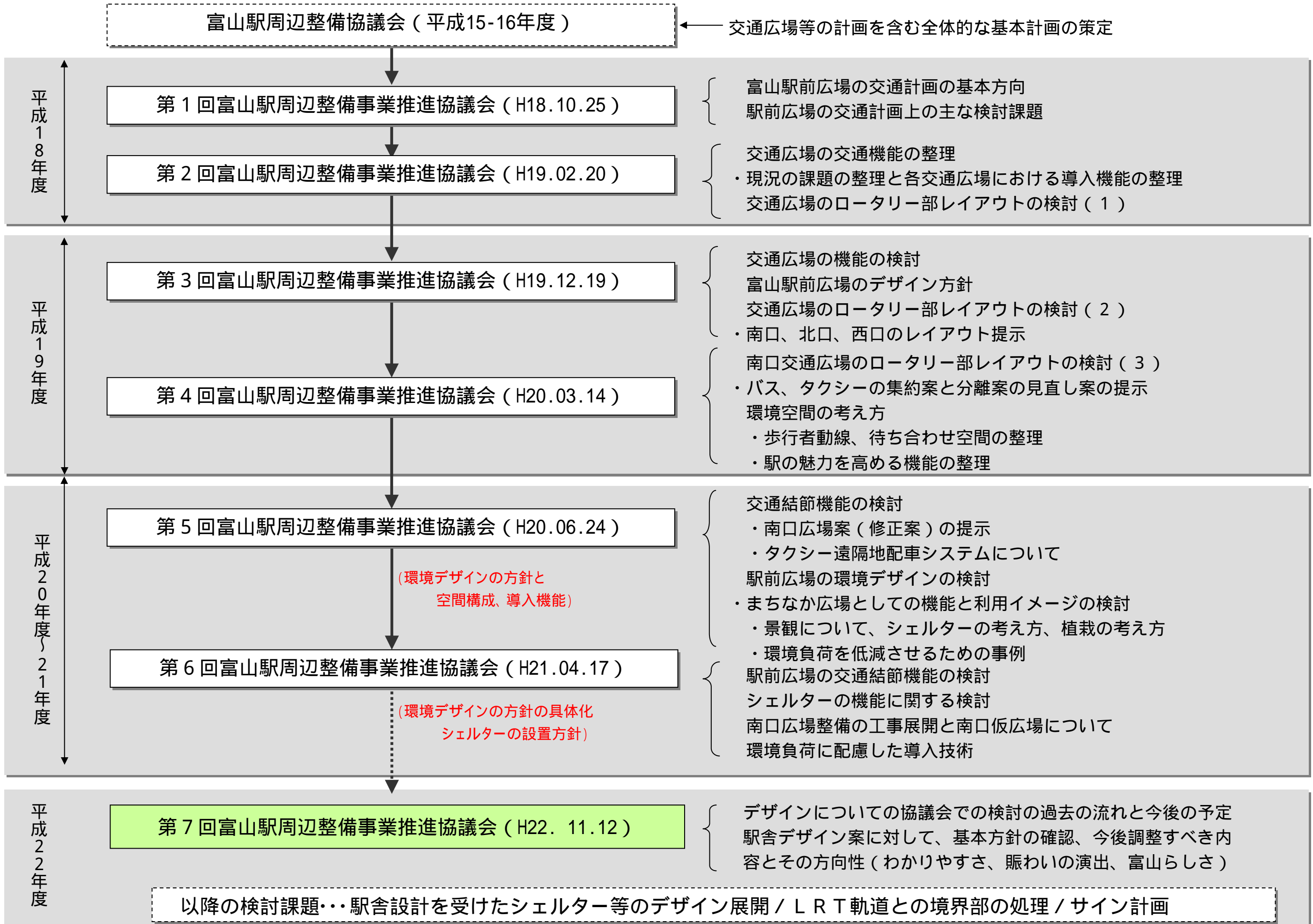
目 次

1	これまでの流れ	1
2	デザイン指針（富山駅周辺景観デザイン検討委員会報告書より抜粋）	2
3	駅前広場の基本方針	5
4	駅前広場の空間イメージと駅舎デザインとの調整内容と方向性	7

平成22年11月12日

富 山 市

1. これまでのながれ



2. デザイン指針（富山駅周辺景観デザイン検討委員会報告書より抜粋）



基本理念、景観形成の基本目標と景観整備の基本的方向等（富山駅周辺景観デザイン検討委員会報告書より抜粋）

基本理念

自然・文化・未来がひびきあう、明るく開放的な交流拠点
～ 100年後に伝える富山の顔づくり～

景観形成の基本目標と景観整備の基本的方向

(1) 賑わいと交流を演出する景観形成

- まちの拠点としての賑わいある「交流空間」づくり -

使いやすく快適な空間構成
明るく開放感あふれる駅空間
新たな交通システムによる出会い創出

(2) 富山の自然・文化・伝統・産業を印象づける景観形成

- 富山らしさあふれる「もてなし空間」づくり -

雄大で美しい立山連峰など富山の自然の活用
富山に育まれてきた文化、伝統、産業等のイメージの表現
ものづくりの技術をいかした先端技術等の発信・活用

(3) 富山のまちのシンボルとなる景観形成

- 駅舎を核とした「シンボル空間」づくり -

未来に向けたランドマークとなる駅舎
駅舎と駅前広場の一体感あるシンボル空間
周辺市街地や駅近傍の豊かな水辺環境と連携・融合した美しい都市景観

富山駅周辺景観デザインに関するアンケート結果

富山駅利用者等を対象に、平成19年3月～5月にかけて景観デザインに関するアンケートを実施したところ、主な回答は以下のとおりでした。
(駅周辺やシンポジウム等で配布・回答数948)

- ・駅に望むことは、「公共交通の乗換えが便利」、「雨や雪に濡れずに移動できる」、「駅前市街地の街並みが魅力的」
- ・富山駅周辺地区の景観に考慮すべきことは、「活力や未来」、「自然環境」、「観光や産業」
- ・新たな富山駅の駅舎デザインは、「明るく開放的」、「親しみやすい」、「落ち着いた」

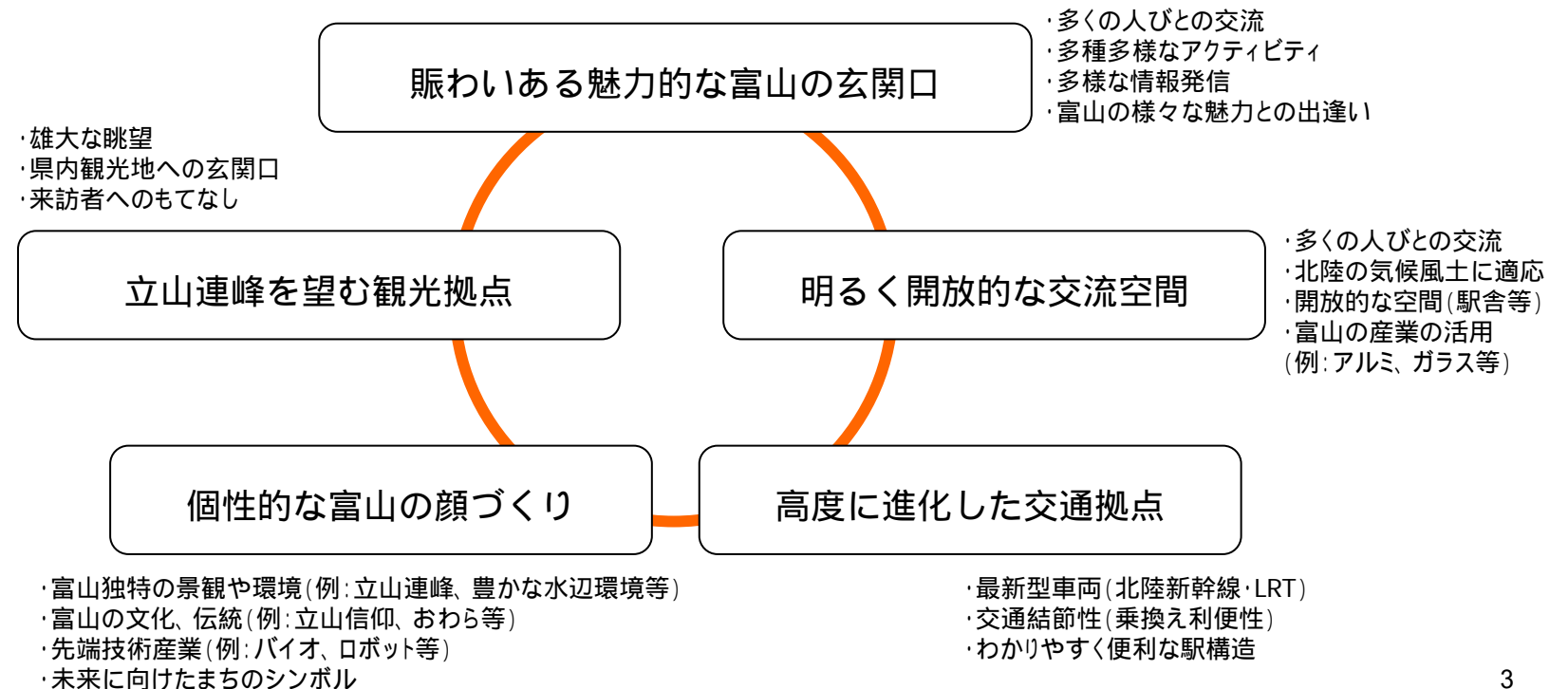
そのほか参考にした富山駅周辺整備に関するアンケート等

- ・市民アンケート(H15)
「賑わい」、「美しく調和した街並み」
- ・富山商工会議所アンケート(H15)
「立山など」、「近代的」、「風土・伝統」
- ・富山経済同友会提言(H16)
「富山の玄関口」、「富山らしさを持つ駅舎」



「富山駅周辺景観デザイン シンポジウム」の様子
(平成19年4月22日)

望ましい駅周辺の機能・景観



1 富山らしさを感じる駅とする

ガラスファサード（外壁）を設け、支柱などの主部材を白色系とすることで、富山らしさを演出するとともに、立山に代表される富山の風景を感じられる駅とする

2 一体的な空間をもつ駅とする

新幹線と在来線の間仕切り壁を設けず、屋根を大きなトップライト（天窗）でつなぐことによって一体的な空間をもつ駅とする

3 明るく開放的な駅とする

ガラスファサードを設け、高い屋根にトップライトを多数配置することによって明るく開放的な駅とする

4 眺望の良さを確保した駅とする

屋根の支柱をできるだけ少なくし、ガラスファサードを設けることで、駅周辺から列車の発着がよく見えるとともに、ホームから駅周辺への眺望の良さを確保した駅とする

5 快適で心地よい駅とする

富山の気候を考慮し、外気を活用・制御することで、年間を通じて快適で心地よい駅とする

6 人びとが集い賑わう広場等とする

ゆとりある開放的な空間において様々なイベントが行われ、富岩運河環水公園や周辺街区との連携などにより、常に人びとが集い賑わう駅前広場及び高架下・自由通路とする

7 富山の四季や自然を感じられる広場とする

風や光、空、自然、風景を採りこみ、それらを通じて富山の四季を感じられる開放的な駅前広場および高架下・自由通路とする

8 LRTを活かした広場等とする

歩行者の安全に配慮しながら、広場と一体となった軌道空間とし、LRTをシンボルとした駅前広場および高架下・自由通路とする

3 . 駅前広場の基本方針（第5回、第6回協議会資料より抜粋）

富山駅周辺整備の基本方針

県都富山の新たな顔をつくる

富山の歴史や自然を活かした駅舎及び駅前広場のデザイン

土地利用・建物・屋外広告物の規制誘導による良好な景観形成

駅を中心とする南北軸を活かした景観軸の形成

環境負荷低減に配慮した駅周辺整備の実現

多彩な公共交通を快適につなぐ

鉄軌道・バス・タクシー等がコンパクトにつながる交通結節点の整備

駅南北の一体化・南北軸の強化

ユニバーサルデザインによる安全で快適な駅・駅前広場の整備

都市拠点としての機能をそなえる

広域商業機能の強化

文化交流機能の充実

業務機能のさらなる集積

【まちなかの広場】

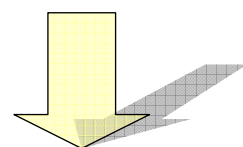
都市の中心に位置する多目的な空間

「集い」「憩い」「賑わい」「交流」などの機能

富山駅の交通広場整備方針

従来の駅前広場

「広場」という名前がついているものの、交通機能に特化し、広場面積の大部分をバス、タクシー、自動車といった車両スペースが占めていた



富山駅の交通広場（交通結節機能 + まちなか広場機能）

交通結節点として人が集まる特性を活かし、「まちなか広場」機能を加える

バス、タクシ - などの交通機能は東側にコンパクトに配置し、西側半分はLRT軌道を中心とした「まちなか広場」として確保

駅と連携し、富山の良さを伝える富山駅前広場

駅と、駅を貫く南北・東西自由通路、3つの駅前広場が連携し、富山の顔となる空間づくり

富山の発展の礎

コンパクトシティの中心として公共交通の快適な乗換を支える

わかりやすく、乗換え距離の短い空間構成

雨や雪にぬれず移動できる空間

新幹線開業のインパクトを受け止め、富山・立山観光の拠点となる

観光やまちなかの魅力を伝える仕掛けがある空間

にぎわいと交流が生まれる仕掛けがある空間

「富山の顔」となる空間

ブルバールやセントラム・ポートラムなど今まで富山が進めてきた

「新たな富山の魅力」の結節点であることを生かした空間

駅舎を引き立てる空間構成と、富山らしい素材

環境負荷低減に配慮した空間構成や施設



(羽田空港 国際ターミナル)

わかりやすい空間構成



(金沢駅)

雨や雪にぬれず移動できる空間



(岡山駅)

待ち合わせ空間



イベントや広告などで賑わいを演出



ブルバール(北口)との連続性



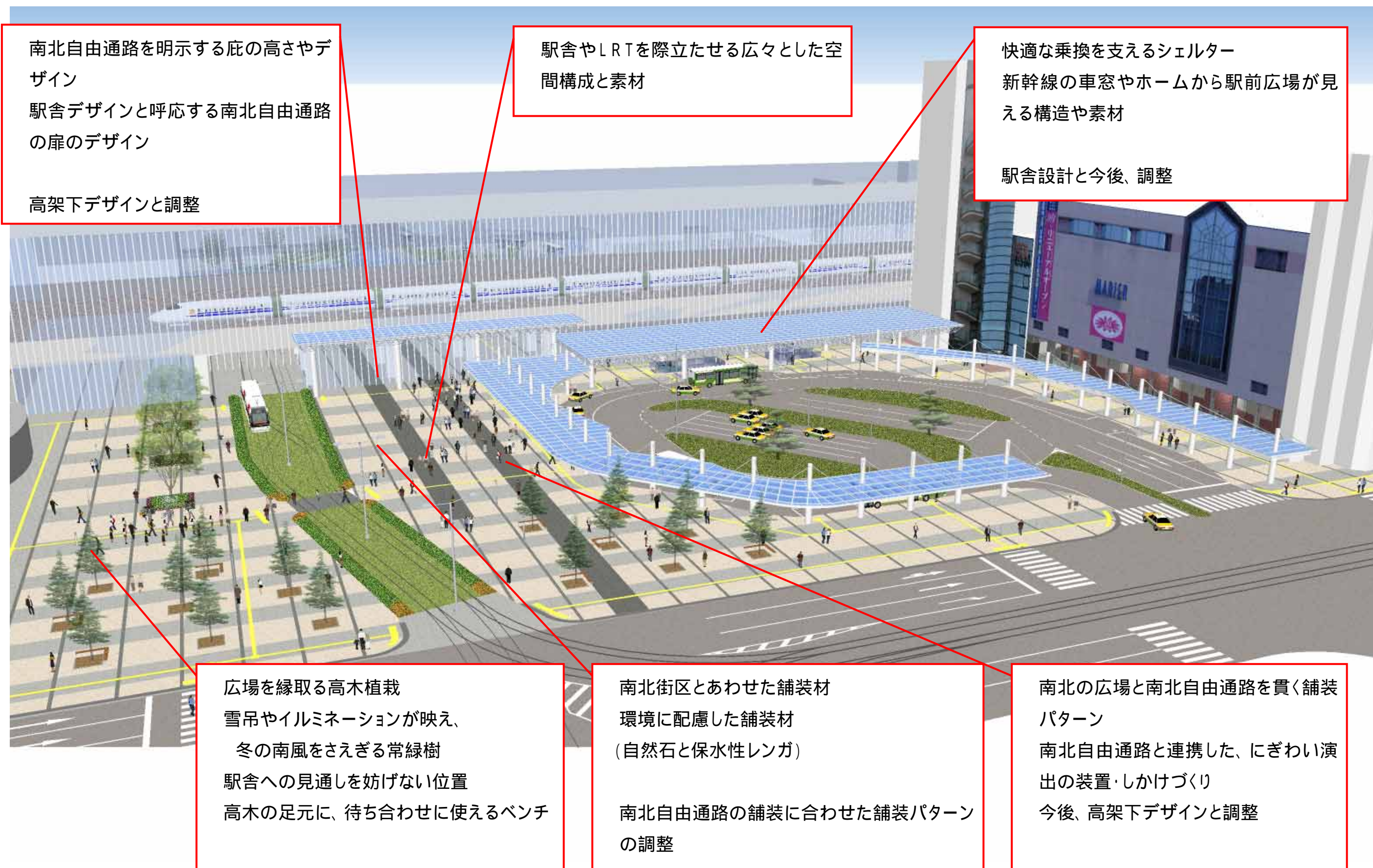
雪吊りが出来る樹木



環境負荷低減に配慮した保水性レンガや太陽電池



4 . 駅前広場の空間イメージと駅舎デザインとの調整内容と方向性 (わかりやすさ、賑わいの演出、富山らしさ)



開発可能街区は、イメージです。